

授業概要

この授業では、心の健康に関する心理療法やカウンセリングにおける代表的な手法を紹介し、それぞれの歴史、概念、意義、適応および限界を学習することを目的とする。また、心理学的支援を必要とする者、および支援を必要とする者の関係者への支援の提供方法(相談者が訪れることを待つか、支援提供者が訪問するか等)およびその意義について学習する。心理学的支援を実践することの前段階として、信頼関係を構築するために必要なコミュニケーションの方法やプライバシーへの配慮についても習得する。

授業計画

| | |
|------|-------------------------------|
| 第1回 | ガイダンス(授業の進め方・成績評価など) |
| 第2回 | 心理学的支援の歴史 |
| 第3回 | 心理学的支援の意義と概念 |
| 第4回 | 個人を対象とした心理学的支援の提供方法 |
| 第5回 | 集団、組織、地域を対象とした心理学的支援の提供方法 |
| 第6回 | 心理学的支援の近隣領域の紹介と連携 |
| 第7回 | 心理学的支援における倫理的配慮 |
| 第8回 | 前半のまとめ |
| 第9回 | 心理学的支援を必要とする者との信頼関係の構築 |
| 第10回 | 心理学的支援を行うためのコミュニケーション方法 |
| 第11回 | 心理学的支援を必要とする者の関係者への支援 |
| 第12回 | 心理学的支援による心の健康教育 |
| 第13回 | 心理学的支援の方法(1):精神分析の適応と限界 |
| 第14回 | 心理学的支援の方法(2):人間中心主義の適応と限界 |
| 第15回 | 心理学的支援の方法(3):認知行動的アプローチの適応と限界 |
| 第16回 | 試験 |

到達目標

- ①代表的な心理療法およびカウンセリングの歴史、概念、意義、適応と限界を習得する。
- ②訪問による支援や地域支援の意義について理解する。
- ③良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を習得する。
- ④プライバシーへの配慮について学習する。
- ⑤心理学的支援を必要とするものの関係者に対する支援法を学習する。
- ⑥心の健康教育について理解する。

履修上の注意

- ・詳しい注意事項は第1回の授業で説明するので、第1回の授業には必ず参加してください。
- ・授業内で2人組や3人組などのグループを作るよう指示することがあります。

予習・復習

授業で紹介できることは、心理学的支援法の導入部分のみです。授業内で適宜参考図書を紹介するので、各自で発展的な学習を行ってください。

評価方法

平常点(受講態度、提出物等の約束事の遵守の程度)が4割、試験が6割です。第1回の授業で、評価方法の詳細を説明します。

テキスト

指定しません。